



桜谷小学校だより 令和5年1月31日

# 2月桜通信

新しいホームページはこちらです  
→「<https://www.fureai-cloud.jp/sakura-es/>」  
これまでのホームページから  
入ることもできます。



## 「起きてすぐ 雪かきしたら また降った」～子どもの俳句から～

先週は思いがけない大雪に見舞われ臨時休校とさせていただきました。その翌日「鳩の会」のグループの方が6年生の俳句指導に来てくださいました。最初の句はNさんが前日の出来事をよんだものです。早く起きて一生懸命に雪をかいたのに、あっという間に新しい雪が積もった驚きやがっかりした気持ちが、わずかに17音に凝縮されています。この句が紹介されると、教室のあちこちから「わかる、わかる」という声が聞こえてきました。自分も同じように苦労したからこそ共感できたのでしょう。教室に穏やかな空気が流れ、俳句の奥深さとともに、学校で思いを通い合わせる尊さを感じました。

さて、保護者アンケートや職員評価などをもとに、今、職員と次年度構想を練っているところです。その中で子どものよさや成長を喜び合う一方で、「すぐにあきらめてしまう」「家の人や教師にやってもらって当たり前と思っているとすることがある」「最後までやり切る力をつけたい」「感謝の気持ちをもてる子に育てたい」といった意見が多くの職員から出ました。運動会や委員会・係活動など大きな目標ややり甲斐があると期待以上の力を発揮できる子どもたちですが、日常の取組では「もったいない」と感じる場合があります。同じ思いをもっておられる保護者の皆さんもおられるのではないのでしょうか。

先行き不透明な時代にどんな力が必要か考えたとき、最後までやり遂げた喜びを感じられるようにしたり、子どもに任せる場面やあえて教えず子どもが考える場面を増やしたりといったことが一層大切だと、職員と話し合っています。前述の雪かきは、まさに生きる力につながります。「せっかく雪かきしたのに」という徒労感もときには必要ですし、家の人には「寒かったのにありがとう。助かった」と言ってもらった達成感や誇らしさは、「自分も役に立っている。次も頑張ろう」という意欲につながることでしょう。また自分が苦労を経験すると、人にしてもらったとき、自然と感謝の気持ちが湧いてくるものです。「こんな子に育てほしい」という願いに近づく一番の早道は、日々の生活の中にあるのかもしれません。

なお、休校の日、職員が雪かきに追われていると、手伝いに来てくださったU建設様、翌朝、暗いうちから雪かきをしてくださったO様、凍てつく中、学校前や集合場所で見守りをしてくださった皆様など多くの方に助けていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

休校翌日の正門前の風景より→

## 創立150周年実行委員会を立ち上げました

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 実行委員長  | 堀江清一郎様(HOTけん桜谷隊副隊長)                |
| 副実行委員長 | 様(後援会会長)<br>様(後援会副会長)              |
| 式典部長   | 様(元校長)                             |
| 記念行事部長 | 様(保護者代表)                           |
| 記念事業部長 | 様(学校運営協議会副会長)                      |
| 資金部長   | 様(学校運営協議会会長)                       |
| 監事     | 様(同窓会長)<br>北崎あゆみ(校長)               |
| 顧問     | 様(西桜谷公民館長)<br>様(東桜谷公民館長)           |
| 会計     | 様(同窓会副会長)<br>様(学校運営協議会副会長)<br>(教頭) |

## 1年生が必佐小の1年生と交流しました

10月には本校の裏山で交流し、今回は必佐小に行かせてもらい一緒に跳び箱を使った運動遊びとドッジボールをしました。事前に同じ「跳び箱カード」を使って、それぞれの学校で学習を進めてきました。

コーナーに分かれて跳び箱をしたときには顔が強張っていましたが、必佐の子にアドバイスをもらったり「上手だね」と声をかけてもらったりするうちに表情が和らいできました。その後のドッジボールでも最初は圧倒されながらも、帰るころには「次は桜谷に来てほしい」と再会を楽しみにする様子が見られました。いい経験になりました。

必佐小の1年生と一緒に  
跳び箱をする1年生 →

## 「桜谷のあしながおじさん」から2回目の贈り物

9月に続き、地域の匿名の方から「美味しいご馳走をお腹いっぱい食べて今年も元気に過ごしてほしい」とお申し出をいただき、近江牛の牛丼と近江米ムースの特別給食に舌鼓を打ちました。寒い日が続きますが、身も心も満たされました。

地域の方が子どもや学校を大切に思ってくださっているお気持ちを子どもにしっかりと届け、今後も地域を誇りに感じる気持ちを育んでいきたいと思います。



雪かきをしてくださるU建設様



(文責:校長 北崎 あゆみ)